

# 救 急 科

## 1. 基本研修体制

- 1) 3カ月を基本単位として研修を行う。
- 2) 頻度の高い救急疾患のプライマリケア・心肺蘇生を通じた呼吸循環管理・集中治療管理を要する重篤な疾患の管理・治療の習得を目標とする。
- 3) 研修期間を通して、月3, 4回程度の夜間救急外来を担当する。

## 2. 研修目標

- 1) バックバルブマスク換気・末梢静脈路確保・動脈路確保の習得
- 2) 緊急時の輸液ルートの確保・気道確保・循環動態の維持・ショックに対する対応の修得
- 3) 重症患者の輸液管理及び栄養管理の修得
- 4) 循環器・呼吸器・消化器・中枢神経系疾患の解剖と病態生理の理解
- 5) 酸塩基平衡・電解質輸液・輸血・栄養管理の基礎理論の理解
- 6) 体外循環による血液浄化・補助循環の理解
- 7) 短時間での患者の病歴・現症・検査所見の正しい把握と適切な記録方法及びプレゼンテーション方法の修得
- 8) ガイドラインに基づく、BLS・ACLS及び外傷初期診療の修得
- 9) CT・MRI・超音波検査などの救急画像診断法の修得

## 3. 研修スケジュール

救急科・集中治療部
夜間休日救急日直・当直（研修医による輪番制）
救命救急センター受け持ち・救急外来当番

#### 4. 週間スケジュール

救急科・集中治療部

	月	火	水	木	金
午前	朝カンファレンス・病棟回診・ER症例検討 入院患者の処置・ER当番	朝カンファレンス・病棟回診・ER症例検討 入院患者の処置・ER当番	朝カンファレンス・病棟回診・ER症例検討 入院患者の処置・ER当番	朝カンファレンス・病棟回診・ER症例検討 入院患者の処置・ER当番	朝カンファレンス・病棟回診・ER症例検討 入院患者の処置・ER当番
午後	症例検討会 抄読会 ER当番 ACLS実習 夕方回診・引き継ぎ	症例検討会 ER当番 JPTEC実習 JATEC講習 夕方回診・引き継ぎ	症例検討会 抄読会 ER当番 夕方回診・引き継ぎ	症例検討会 ER当番 FCCS講習 夕方回診・引き継ぎ	症例検討会 ER当番 ISLS講習 夕方回診・引き継ぎ

当直明けは非番・週休は平日に振り替えとなります。

#### 5. 月間スケジュール

- 1) 研修期間中は地方会や研究会での症例報告あり
- 2) 月1回の抄読会による救急疾患に対するトピックの提示
- 3) 症例から学んだ病態のミニレクチャー

救急科・集中治療部指導責任者

藤田 智 教授  
赤坂 伸之 准教授  
小北 直宏 准教授  
鈴木 昭広 講師  
西浦 猛 講師  
川田 大輔 講師

指導教員数：計10名

救急科・集中治療部についての質問は、e-mail: [nakokita@asahikawa-med.ac.jp](mailto:nakokita@asahikawa-med.ac.jp)

または、TEL:0166-68-2852, FAX: 0166-68-2699 小北 直宏まで